

白山湯, 谷, 釈迦岳登山道にてフジミドリシジミの採卵

吉村 久貴

1982年11月14日、21日の両日にわたり、白山湯, 谷, 釈迦岳登山道(石川郡白峰村地内)にて、ブナよりフジミドリシジミの若年採卵したので報告する。

フジミドリシジミについては、金沢市近郊の匠王山にも分布しており1982年には、会員諸氏により成虫採集例もいくつか記録されたが、採卵については、卵の数の「隔年周期説」が出されるほど、採れる年と、採れない年に差があった。

同地で1978年に多数のフジミドリシジミ卵が採れた記事については、井村氏により、翔2号誌上に既に報告されている。^{*)}

フジミドリシジミは、登山道右側のブナの大木の下ひこばえの背丈位から数mまでの高さの細い枝に1卵ずつ産卵されていた。

市瀬あたりから見える白山頂上は真白といった時期だったが、両日とも快晴に恵まれ、ポカポカとしたなかでの採卵だった。また、ほとんどの樹は落葉していたが、ブナにはまだ枯葉がついており、遠くからでも、ブナの存在がすぐにわかった。

先立って採卵に出かけたなかからは、「今年も、フジミドリの卵は採れない。」という声がかかれていたが、両日を通して30卵の収穫があった。フジミドリシジミは枝に産卵するので、ブナに葉がついている早い頃では、卵が非常に探しにくいのではないかと思われる。

採卵データ

石川郡白峰村湯, 谷

1982. 11. 14	フジミドリシジミ	16卵
11. 21	"	14 "

— 参考文献 —

*) フジミドリの採集記 井村正行 翔 № 2 (1978)

向だつさん
宝達山採卵行

松井 正人

1982年10月30日、向陽ユンビと松井・岩下組は、羽咋郡押水町宝達山にて、ジョウザンミドリシジミの採卵に成功したので報告します。

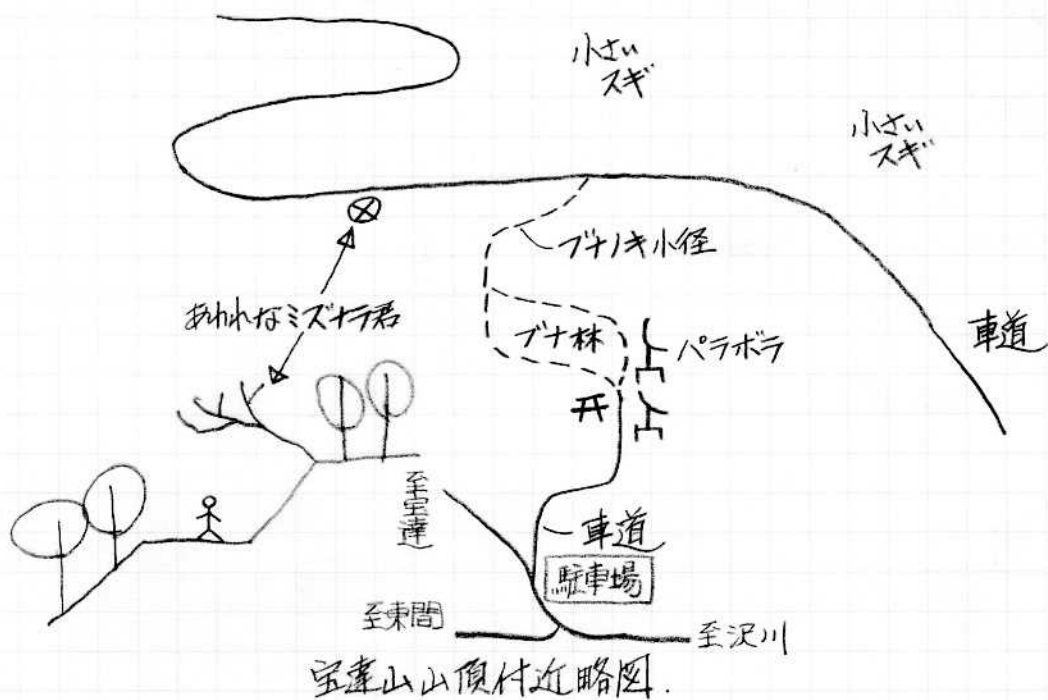
宝達山のピークに、イナ林が少ねからず残っているのは皆様の知っての通りであります。このイナ林でメスマカミドリシジミが採れないものかともくろんだ人がいたのです。

しかし、イナ林の面積は思ったよりも狭く、メスマカは見つかりませんでした。せっかく宝達山まで来てスカでは帰れません。

松井氏得意の絶対に落ちないという木登りが始まり、ミズナラに挑戦したのでした。おいしい芽(マイル・ジョウザンポイント)を木の上と下で丹念に探すのですが、何も付いていません。

全くあきらめて帰る頃、ふと目についたおいしそうなミズナラ1本。これで最後にしようとして登ったところ、頂芽より1卵ずつ、2卵のジョウザンミドリシジミが得られました。

しかし、果においしかったこのミズナラ君の芽は、全然なくなっ
てしまいました。翌春は、どうなっているのだろうか楽しみですね。



(1) 金沢市犀川ダム

1982年11月14日

あまりの好天に3時間は採卵することにした。場所は我家から近い犀川上流方面。目標はメスマカミドリシジミ。これまで野田山や医王山低地で桜を捜し、卵を発見できなかった経験から、石川県のメスマカは標高500m以下には分布していないだろうという印象を受け、それを人にも話してきた。

ところが、先日、松田氏から富山県の低地で本種の採卵に成功した話をうかがい、それならば、石川県でも低地で採卵できるに決まっていると、前述の採卵計画を立てた。

単独行の常で、熊走あたりからキョロキョロと桜を捜しながらの危険極まりないわき見運転となるが、この道は御存知の如く樹相が貧弱で、桜を発見できないまま、ダムサイトに着いてしまった。

やむなく、ダム湖右側の道を5分ほど進むと、山側のがけからはり出した比較的大きな桜(ツクリキンギマメサクラではない)を2本発見。がけをよじ登り、桜が太木の場合のオニのポイントである樹の内側の空間にある幹から直接生えた小枝や、根元のひこ生え、オニのポイントである最下方にはり出した枝をチェックして、12卵を得ることができた。この標高は約350m。メスマカは、ますます身近な蝶になってきた。

時間があまりないので、それ以上の深入りは止め、隣に生えていた手頃なミズオラにアタックした。この一本の樹からは、マイノ・ジョウザン、アカ、ミズイロと次々に採卵できたが、エゾはこの日も微笑んでくれなかった。

ミズイロの2卵が、各々小指位の太さの小枝に産付されたものであったことが、僕が本気でエゾを捜したことを証明してくれるはずだし、この少し下流のウラジロガシからは、エゾの採卵記録があることから、本種が分布していることは疑いないのに……。どなたか、エゾの採卵法を教えてください。

最後に、この道右いで最も目につく木、オニグルミからオナガを採ることにした。数年前までは、「石川県でオナガを採卵するには、半日位はつぶす覚悟で、鋏を持ってクルミに登ることが必要。」と言われていたが、最近ではこれが、「採卵に出かけて、たまたま手の届くオニグルミの枝があったら、引き寄せてみなさい。たいていオナガの卵がついているはずである。」と変化してしまった。

この言葉の正しさは、実際、各地で確認されつつあり、採卵に於て最も重要なものは、そこに卵があるという信念であることを再認識させられているが、この日も道が小さな流木に橋をかけている所に、下から枝を伸べてきていた高さ2~3mのオニゲルミから難なく採卵することができた。

以下に採卵結果を記す。

ダイセンシジミ	1ex	ミズナラ
ミズノオガシジミ	2exs	"
オガシジミ	10exs	オニゲルミ
マカシジミ	1ex	ミズナラ
アイノミドリシジミ	3exs	"
メスマカミドリシジミ	12exs	サクラの一種
ジョウザンミドリシジミ	6exs	ミズナラ

(2) 金沢市菱池町

1982年11月28日

犀川ダムにメスマカがいるなら、医王山低地にもと、菱池谷の林道に入った。しかし、この道はすぐに終点になってしまい、2本程の枝を調べたが、卵はついていなかった。

すぐにウラゴマダラ、オオミドリに転向し、前者はスギ植林地の林床のイボタから、後者は道路沿いのコナラのひこ生えから容易に採卵できた。オオミドリは普通種ではあるが、採卵にはポイントをしぼり込む楽しみがあり、コナラのひこ生えなどところ中にあるから、片端から調べていては極めて非効率な反面、慣れてくると、目を付けた樹には、かなりの確率で卵がついている。できるだけ日当りの悪い所に、できるだけ低く生えた樹を捜すことである。

下の方にはばかり目をやっていたら、クロウメモドキのおいしそうな木が目に入ったので、せん定んサミで刻んでみたが、卵なし。しかし、ミヤマカラスシジミの県内分布は広そうだし、ひょっとしたらベニモンもという可能性も否定できないので、この木には今後、目を向けて行く必要があるだろう。

いじけた採卵に飽きたので、ミズナラの太木を選んで登り、しつこくエゾを捜すが、得られたのはアイノのみ。要するにこの谷はダメと、医王の里付近にかなり条件の良さそうなサクラがあったのを思い出したことを口実に転進し、大小のサクラを入念に調べたが、メスマカ君はいなかった。

やむなく後ころがってマルバヤオダモの樹幹とのにらめっこをし

たが、シラキンは穴あき卵が多く、おとものものは1卵しか得られなかった。しかし、この樹からは、異常産卵と思われるミズイロオオガの卵が発見できた。ここでもミズオラにちよっかいを出したが、ジョウザンのみで調子悪く、ユオラからオオミドリを追加して打止めとした。

シラキンタラシジミ	33 exs	イボタ
シラキンシジミ	1 ex	スルバヤオタモ
ミズイロオオガシジミ	1 ex	"
アイノミドリシジミ	2 exs	ミズオラ
ジョウザンミドリシジミ	1 ex	"
オオミドリシジミ	19 exs	ユオラ

広島県におけるサンヨウアオイの採集

吉岡 泉

先日、(1982)12月1日より3日まで、公用にて松井氏が来広され、3日に広島県安芸郡府中町水分(みづり)峡にて、氏と共にサンヨウアオイを数十株採集したので報告しておきます。

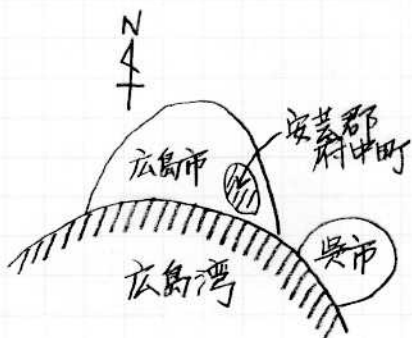
サンヨウアオイに関する詳しい事柄は、後ほど氏より報告されるかもしれませんので、採集地点での状況と簡単な地図を載せておきます。

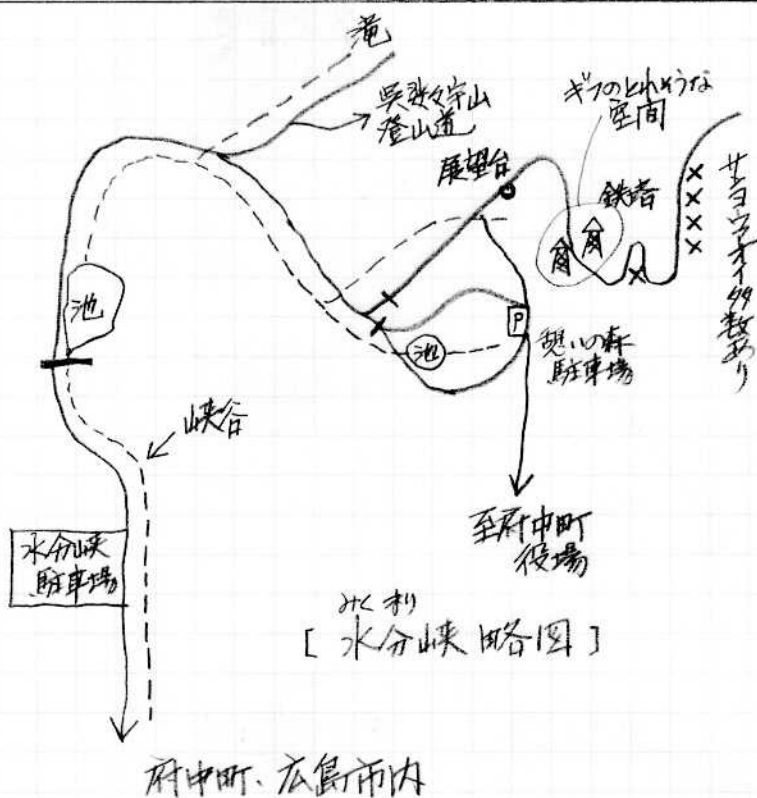
数日前より、氏から「サンヨウアオイの採れるところはないか。」との連絡があり、広島大学理学部の後輩に尋ねたところ、広島市近郊の安芸郡府中町で採集可能ということで、当日、そこへ伺いました。

市内からは、意外に近く、駐車場まで車で20分程度。ここからは徒歩で約1時間(道を間違えたため、時間がかかった)。

前日読んだ「昆虫と自然」にあった「サンヨウアオイは陰地性」という記事のおかげで、なかなか見つからなかったサンヨウアオイを、谷を下った日陰の斜面で、49株発見しました。

30分程で、ビニール袋1杯に足り、そこで引き返してきました。お礼らしく、皆さんのところにも。





教株ずつ届くので
 は？
 届かなかった方
 で、どうしても入
 手したい方は、筆
 者まで御連絡を—
 尚、来春には、
 当地点での、ギフ
 キョウ採集と採卵
 を予定しています。
 予定は未定で、
 決定ではありません
 ので、果して
 どうなることやら
 。。。
 とにかく、責任
 が果せてホッとし
 ています。

独り言、ブイブイ

松井 正人

1982年5月22日、金沢市二保にてハンノキの生えた水田跡のスゲ
 より、オオヒカゲ幼虫を採集（翔№32）した時、このハンノキよ
 りミドリシジミの終令幼虫10頭をいとも簡単に採集してきたのだが、
 不思議なおことに、5羽3羽が羽化してきた。

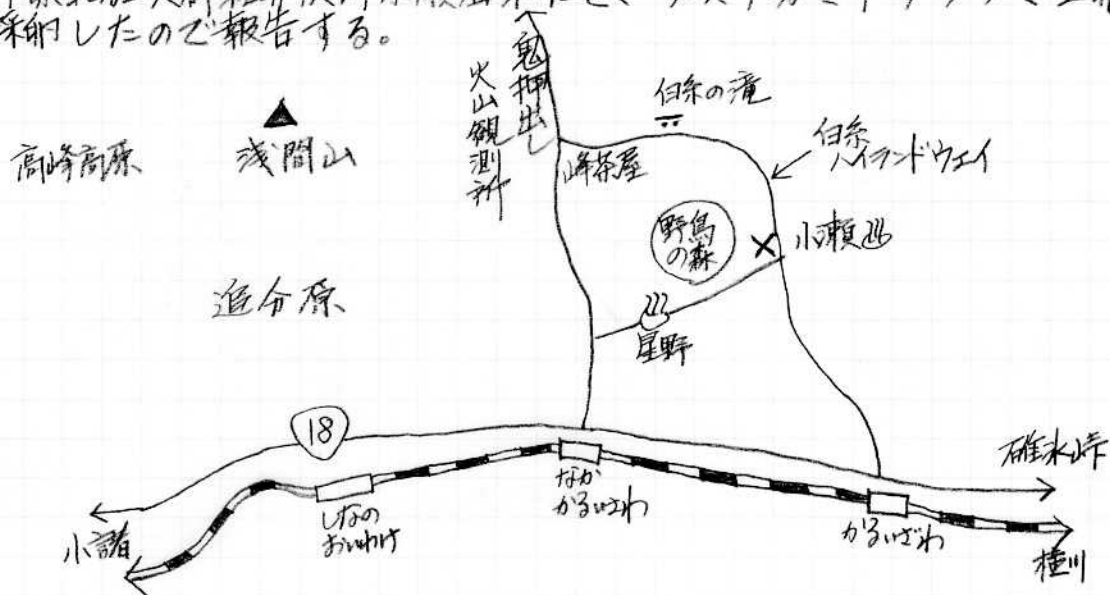
1~2割程度の羽化と見込んで、10頭採集してきたのに、こんな
 ことなら、最初からこんなに採らなければ良かったと思っていると、
 1割程度の羽化だったりする。

軽井沢町小瀬温泉にてメスアカミドリシジミを採卵

吉村 久貴

軽井沢、浅間山周辺は、メスアカミドリシジミの大産地として、
 *1)

有名であるが、今秋(1982)10月10日に、軽井沢近辺を訪ねた際、長野県北佐久郡軽井沢町小瀬温泉にて、メスマカミドリシジミ2卵を採射したので報告する。



小瀬温泉は、軽井沢と白糸の滝を結ぶ白糸ハイランドウェイの中途にあり、山の中のひっそりとした温泉であった。道路は車が非常に多いが、ちやつと森に入ると静かになる所だった。卵は斜面の小さなヤマザクラからではなく、遊歩道沿いの大きなソメイヨシノから得られた。

※1) 新しい昆虫採集案内(Ⅱ) 第4版 pp56-59 内田老鶴園新社(1978)

1982年度 採集手記 其の4
蓮華温泉から白高地沢へ

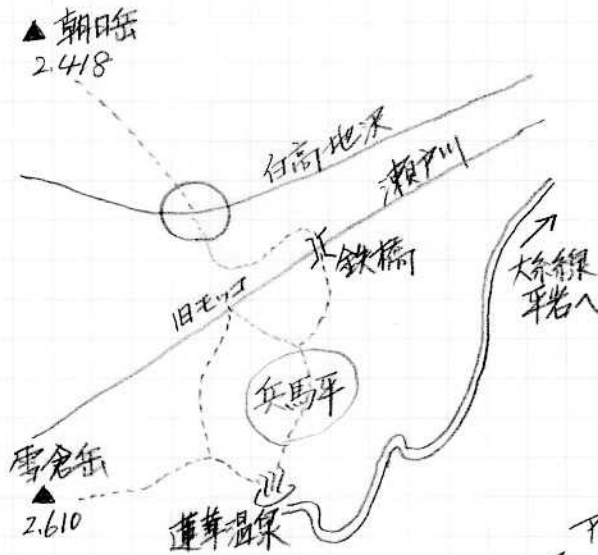
吉村 久貴

1982年6月13日(日)、松井氏と共に、新潟県糸魚川市の白高地沢産ヤマシジミを採集確認すべく、長野県目指して金沢を出発した。大糸線の平岩駅に着いたのが午前2時。蓮華温泉に至る林道に入ってしばらく行くと、真夜中なのに人が飛び出してきて、車を止めた。何かと思うと、「山菜取りの人ですか。1人、1000円頂きます。」と言う。事前の情報通り、「山登りです。」と答えると、無料で通してくれした。真暗闇の荒れた林道を小一時間走ると、蓮華温泉に到着

した。(午前3時過ぎ) 林道には、山菜取りと思われるおぼりの車が既に入っていた。

車の中で仮眠をとった後、夜が明けたので、朝食をとった。案の定、小屋の人が近づいてきて、さかんにどこへ行くのか聞きたがった。が、鉄則通り、チョウの話は絶対にせず、ネットも見せなかった。蓮華温泉は、眼前に残雪の雪倉岳と朝日岳のそびえるすばらしいところだった。

しばらく朝日岳登山道を歩くと、道沿いに多くの山草が咲いているのに気付いた。シラネアオイ、ツバナオモト、ミズバショウなど大きな花が、今をさかりと無数に咲いていた。ゴゼンタチバナ、ゴケイラン、ノビネチドリ、ハクサンチドリ、リュウキンカ、ミツバオウレン、タテヤマリンドウなども人知れず、ひっそりと咲いていた。



30分位歩いた兵馬平(湿原)で、以前の道と分かれて、新しい道を行くが、この分岐でエビラフジとこれを食するマサマジミを確認した。

瀬川を越えて約一時間で、白高地沢に到着したが、川中が50m近くもある大きな川で、雪落の水がゴウゴウと流れ、渡渉できなかった。その河原には、イワオウギとタイツリオウギが無数にはえていた。

マサマジミは両方のオウギを食している様であったが、イワオウギの方が好かれているらしく、より幼虫

がついている様だった。

マサマジミ幼虫採集のルール通り、食痕とアリの姿を求めての採集であったが、イワオウギは食痕がズタズタ。葉上や根元には、終令幼虫がうじゃうじゃといった感じだった。根元のマサマ幼は、砂利の中に埋ったりして採集しにくかったが、ピンセットを持っていないので、松井氏より「おはし作戦」というのが考案され、弁当のはしで幼虫をつまんで採集した。

イワオウギからは、ヒメマジミも若干得られたが、マサマジミの北ではなかった。二人とも、約100頭ぐらい採集したところで河原で昼食となった。回りをヒオドシチョウがしつこく飛び回っていた他は、モンキチョウがヒラヒラ飛んでいた。

昼食をとった後、ボヤッと河原を見ていると、小型で弱々うな
白い蝶が一頭飛んできて、川の中洲の小さな花にとまった。「クモ
マツマキだ」と思ってちょっと近づくと、やっぱり今のクモマツマキ
で、ミヤマムタザオに産卵中だった。この年は採集したが、ミヤマ
ムタザオには、うすたオジ色の卵が2卵産卵されていた。

更にイワオウギを捜しているところ、別のクモマツマキがまた飛来。
今度は、ミヤマムタザオが何本かはえている所に産卵したようだった。
この年は採集せず、卵を好きなだけ産ませようとして見ていると、
1卵1卵でいねいに計7卵を産んだ。筆者が1m以内で見ているのに逃げなかった。結局、この年は採集せず、7卵を得た。
午後1時頃、帰路についたが、兵馬平あたりから雷雨。蓮華温泉
に着く頃にはビショ濡れとなった。松井氏と共に、温泉につかって
から帰沢となった。

筆者にとっては、非常にAlpine気分の採集でおもしろかったが、
平若〜蓮華温泉間の荒れた林道は、松井氏のレオナーでもない限り、
二度と行く気がしない。

【シズ案内 & 書評】

第2回 月刊むし社製 標本ダンス (大型ドイツ箱24箱用)

吉村 久貴

今回は、月刊むし社が製作販売している大型ドイツ箱収納用(24箱)、標本ダンス
を紹介する。長い間ムシを集めていると、取標本箱の数も増えてきて、その置場所
に困ってきます。初めは、ダンボール箱にして、部屋の隅に積んだりしていたの
ですが、不安定でもあるし、最も不便なのは、出したい標本の入っている箱をさ
ぐりあげ、下の方からひっぱり出す時です。

こんな時、きちんと標本箱が並んでいてダンスの引き出しの様になっており、
見やすいメモホルダーがついて、目的の箱が簡単に見つけ出せたらと思ったの
が、筆者がこの標本ダンスを購入した動機でした。

以前も、松井氏宅に標本ダンスがあるのは知っていましたが、製作を依頼
して作らせた特注のものだったので、大型ドイツ箱にはピッタリ合いません。

この標本ダンスは、寸法 間口 1090 × 奥行 455 × 高さ 920 mm の中に、
横2列、た212段に大型ドイツ型標本箱が24箱、きちんと納まり、値段の方は、
30,000円を郵送に2,000円かかります。

最近の月刊むし社の標本箱にはメモホルダーがついていますので、これにメモを
はさんでつけると、簡単に目的の箱が選り出せ、下の方からでも箱をとり出す
ことができ、非常に便利です。また、高さ920mmですので、た2に2つ積み重ね
ると、普通の洋服ダンスより少し大きな感じですが、48箱を納めることができ、

このだけ収納できるのは Capacity は充分かと思われず。

鉄扉は左右開きにはりませんが、赤味かった木目調のきれいな塗装で、Simple な金属の取手がついています。タンスの横板も、同じ様な木目調の塗装が施されています。

郵送は、コンパクトな小包みに包んで送られてきますが、1時間もお小は組み立てるじかたです。

この他、10箱用の 18,000 円(〒2,000 円)もありますが、24箱用の方がずいぶんお得だと思います。

申し込みは、月刊むし社に、現金書留、あるいは、郵便振替で!!

〒164 東京都中野区中野郵便局 私書箱10番 月刊むし社

TEL. 03(316)1461-1462

郵便振替口座 東京 6-159262番 月刊むし社

TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TOBU TONDA:

⇒ 新採集人刊 = スペースの関係で会員の動き・レポートの動きは休みます。詳しい情報おもしろい情報がお求めらる場合は、この一報下さい。普通種でも記録の必要の百種がまだまだ埋まっています。おそれた余裕を利用して原稿を書いてみてください。

目次

白山湯谷 釈迦岳登山道にてツミドリジミの採集	-----	吉村 久貴	1
宝達山採集行	-----	松井 正人	2
ゼブ採集記 (1) (2)	-----	野中 勝	3
広島県におけるサンヨウアオイの採集	-----	吉岡 泉	5
独り言、ブツブツ	-----	松井 正人	6
軽井沢町小瀬温泉にてメスアカミドリジミを採集	-----	吉村 久貴	6
1982年度採集手記 其の4 蓮華温泉から白高地沢へ	-----	吉村 久貴	7
【シリーズ案内 & 書評】 第2回 月刊むし社 標本ダンス (大型1箱24箱用)	-----	吉村 久貴	9

巻 No 36

1983年 2月 20日(日)発行

発行： 金沢市三口新町4-9-33 松井 正人 方 百石蝶談会

校正編集： 吉村 久貴